

産地戦略

(みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート)

事業実施期間	令和 6 年度～令和 7 年度
産地戦略実施期間	令和 8 年度～令和 12 年度
実 施 主 体	岡崎市
都 道 府 県	愛知県
対 象 地 域	愛知県岡崎市
対 象 品 目	水稻

新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効化学農薬の使用量の低減 果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
<u>●有機農業の取組面積の拡大</u>	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿・グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

自動抑草ロボ等を活用した雑草防除やペレット堆肥による土づくりによって省力化を図り、有機農業の取組面積の拡大を目指す。

現在の栽培体系

[illegible]

グリーンな栽培体系

[illegible]

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状 R6		目標 R12	備考
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	0.79	▶	10	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	0.79	▶	10	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	0.79	▶	10	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

<技術の内容・効果>

分類	産地の慣行		新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	手取り除草（有機栽培）	▶	自動抑草ロボによる雑草防除	雑草防除の省力化による有機農業の面積拡大
環境 省力	家畜堆肥の施用（有機栽培）	▶	未利用資源を活用した有機肥料の活用	堆肥散布の省力化による有機農業の面積拡大

<技術の効果の指標・目指すべき水準>

分類	指標	現状		目指すべき水準	備考
環境 省力	雑草防除の作業回数	2.4 回	▶	1 回	
環境 省力	堆肥散布の作業時間	0.8hr/10a	▶	0.5hr/10a	

関係者の役割

関係者名	役割
岡崎市	栽培体系の検証・周知
岡崎市有機農業産地づくり協議会	栽培体系の検証・周知
（公財）自然農法国際開発研究センター	グリーンな栽培体系及びスマート農業機械に関する技術的協力
西三河農林水産事務所農業改良普及課岡崎駐在室	栽培体系の検証協力
岡崎市ぬかたブランド協議会 有機農業部会（検証農家）	栽培体系の更なる検証